

キタナカがきっと“すき”になる。

広報
北中城

きたなかぐすく



2023

3

No. 663

ひが
り
ゆう
た
!!

とうんじたるむんや
北中城村観光アンバサダー



〈今月の内容〉

P.2-5 観光アンバサダー ひがりゆうたインタビュー

P.10-11 北中城の新たな観光のカタチ | ウェルネス&ウエディング

P.13 小さな栄養士たち in 北中城小学校

村の人口 (1月末現在、カッコ内は先月比)

男 8,664 (+6)

女 9,274 (-1)

計 17,938 (+5)

世帯数 7,727 (+4)

北中城村観光アンバサダー

ひがりゅうた



どさーどー ちゅー うがなびら

特集

北中城村喜舎場出身のお笑い芸人
ひがりゅうたさんが、昨年の北中城まつりで、
村観光アンバサダーに就任しました。
芸人としての想いや北中城の思い出を
インタビューしました。

よかったら見てね〜



ありんくりん
You Tube
チャンネル

沖縄
ビーチクリーン
プロジェクト





Profile

1992年生まれ 北中城村喜舎場出身
相方のクリスとお笑いコンビ「ありんくりん」を結成。
2016年から北中城まつりの司会を務め、
2022年10月9日に開催された北中城祭りで
委嘱状が交付され、北中城村観光アンバサダーに
就任した。
県内のお笑いグランプリで優勝多数。
うちなーぐちや三線を得意とし、沖縄を題材にした
コントなどが多く、県内のTV番組や映画、CMに
多数出演し活躍中。

「沖縄の芸人」としてのこだわり

NSC沖縄に入る前に喜舎場公民館の行事で漫才を披露したのが初ステージ。そこから地域の行事に参加させてもらって場数を踏んでいった感じ。照屋林賢さん(※1)のところに行ってネタ見せしていました。僕がステージに登場するときの「とうんじたるむん」ってセリフは、林賢さんのお父さんである照屋林助さん(※2)が使っていたもので、林助さんの奥さんからお墨付きをもらいました。

僕は沖縄の笑いをやりたくて。昔から郷土劇場とかが好きだった。ああいう人たちみたいな沖縄の芸人になりたいなと思った。あと小学生くらいのときの夢が青年会長になって公民館の鍵を持つことってくらい公民館って好きなんです。飾られている賞状や歴代の区長さんの写真を見たり、公民館にある獅子舞とかエイサーの太鼓、獅子舞の保存会に興味がすごくあった。公民館に集まるおじさんたちの雰囲気とかパイプ椅子に座ってビール飲んでいるあの感じとか、なぜか好きで。

三線は青年会の地方(じかた)の人の真似してできるようにしました。三線が弾けるようになりたいじゃなくて、地方の人の真似をするために練習していたら弾けるようになった。学校の先生の真似したり、コントが好きなので、かつらを被って何かしたり、地元あるあるみたいな。みんなが「こんな人いるよねー!」みたいに言われたとき、あの瞬間が好きですね。





— 観光アンバサダーとして、

芸人として —

（観光アンバサダーへの依頼がきたとき）売れたなと思った（笑）やっぱり地元の人たちに「あんたがPRしてくれ」って言われたときは売れたときだと。祭りで委嘱状を受け取ったときも「俺が観光大使だ!!」みたいな。さっそく観光協会のエコバッグのデザインもさせてもらったり。

南島とか赤木名節とか伝統芸能がけっこう多いと思うので、執心鐘入なんかもっと分かりやすくエンタメにしたり。「仲順流り」とか最高じゃないですか!? 祭りのとき初めて聞いたんですけど「北中城音頭」も絶対もっと推したほうがいい。あれ最高じゃないですか。昔いたホップトーンズ（※3）さんみたいな感じで北中城でもできないかなと思う。これから観光大使としてお笑いの中にも北中城の魅力みたいなものを入れながら、いろんな人に発信して北中城をPRできたらいいなと思います。

芸人としては、やっぱりM-1グランプリは目指しているし、お笑いの大会は全国区になりたいなと思っています。YouTubeやTikTokもこれまで通り続けていけたら。去年やった、よしもとキタナカ劇場（※4）みたいな地域の公民館を活用した舞台もやっていきたい。

うーりきさい



同級生との

ビーチクリーン活動、 飲食店OPENへ

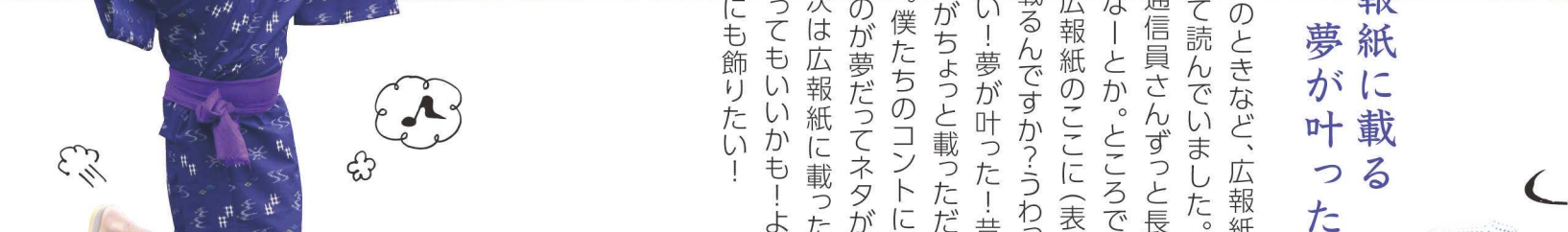
同級生との飲み場で、「自分たちってあまり活動していないよね」って話になって、何ができるかって考えて「じゃあ、ビーチクリーンをやるう」ってなった。やるなら沖縄県内全域でやるうって決めて、去年は手始めに北中城の熱田漁港周辺ですつとやっていました。

2月5日に村の角煮まんじゅう「喜喜」を同級生と一緒にオープンします。北中城ってお店っていっぱいあるけど、その中でも面白いところがあるよみたいな、三線弾いたりとか、独自の場所を作れないかなと。お店が忙しいと、ビーチクリーンは北中城だけになるかも(笑)

— 広報紙に載る 夢が叶った —

夢が叶った

青年会するときなど、広報紙はけっこう集めて読んでいました。人口とか、この通信員さんずつと長いことやってるな〜とか。ところで今回の取材は、広報紙のここに(表紙を指さして)載るんですか? うわ!! めっちゃ嬉しい! 夢が叶った! 昔、喜舎場青年会がちょっと載っただけで嬉しかった。僕たちのコントにも広報紙に載るのが夢だつてネタがあるんですよ。次は広報紙に載つたぞつてネタを作ってもいいかも! よしもとの事務所にも飾りたい!



- ※1 照屋林賢…1949年生まれ沖縄市出身。1977年に音楽バンド「りんけんバンド」を結成。音楽のみならず、映画、写真などでも独自の沖縄の世界観を表現している。
- ※2 照屋林助…1929年に大阪で生まれ、7歳のとき父の故郷である沖縄に移住。小那覇舞天に強い影響を受けた沖縄ポップカルチャーの第一人者。「てるりん」の愛称で多くの県民から親しまれた。
- ※3 ホップトーンズ…沖縄中央混声合唱団出身の金城邦松、池原宏、金城安雄、川上泰雄により1966年に結成されたコーラスグループ。代表曲に「へい! 二才達」、「芭蕉布」など。
- ※4 よしもとキタナカ劇場…2022年7月17日に村立中央公民館で開催。お笑いステージのほか、小那覇舞天の生涯を題材に、ひがりゅうたが初の脚本・演出を手掛けた舞台「ヌチヌグスージさびら〜沖縄のチャップリンと呼ばれた男〜」は、多くの観客から高い評価を得た。